

自己紹介に代えて

SES2017パネル討論「機械学習とソフトウェア工学」



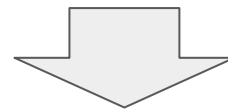
パネリスト

NII 石川冬樹先生

DeNA 濱田さん

PFN 丸山

司会：南山大学 青山先生



翌年、機械学習工学研究会発足



LLM by/for SEに対するポジション

- ソフトウェア工学の主要な課題の1つはソフトウェア資産の再利用だった
 - ソフトウェアはゼロから作るのは大変
 - 多くのソフトウェアは、似たものが過去に作られている ⇒ 「そうだ、再利用しよう」
 - サブルーチン、データベース、オブジェクト指向、Webサービス、コンテナ、デザインパターン、...
 - ライブラリやフレームワークを使いこなすことがソフトウェア開発 ← いまココ
- LLMはソフトウェア資産の再利用を劇的に効率化しつつある
 - 過去に書かれたコードはLLMに何らかの形で記憶されている
 - 自然言語で問い合わせることができる (Google -> StackOverFlow -> Document の無限ループから解放される)
 - 仕様の未指定部分は、過去の「ありそうな」実装で補完される ← これがすごい！
- ソフトウェア開発工程の中で「再利用でない部分は何か」を考えることが、今後のSEの鍵